

受入事業者さまへのお願い

●下呂市ふるさとワーキングホリデーとは

普段都市部で暮らす若い人たちが、二週間下呂市内に滞在し、その間、市内各事業者さまのもとで働きながら、仕事以外の時間は自由に観光したり地域の人たちと交流したりして過ごします。

滞在中、下呂市の人たちの暮らしを間近に感じながら、“働く” “遊ぶ” “学ぶ” をまるごと経験してもらい、ただの旅行とはひと味もふた味も違った密度の濃い滞在をしていただくことで、下呂市とのつながりを創り出そうというものです。

※ 今年度、下呂市は、最長14泊15日間（移動日を含め）の設定で受け入れます。

●受け入れに際し

参加者のほとんどが大学生です。

参加者には、基本的に自活を求めています。何もわからない、頼れる人もいない地域での活動ですので、可能な限りでのサポートをお願いします。

- ・ 安心、安全に衛生的な生活ができるようサポートをお願いします。
- ・ 法令遵守、規則正しい生活ができるようサポートをお願いします。
- ・ 一般の問い合わせ・相談から、トラブル等の緊急連絡など、事務局にご連絡ください

●雇用について

○雇用契約について

参加者と雇用契約を結んでください。

雇用契約書は、貴社規定ものがない場合は、雇用契約書の雛形を用意しているのでご活用ください。

※ 参加者には、マイナンバーカード（マイナンバーがわかるもの）と認め印を持参するように連絡します。

○労災保険について

労災保険の加入をお願いします。保険料のご負担もお願いします。

※ ほとんどが学生のため雇用保険加入の必要はありませんが、必要だと思われる場合は、ご対応をお願いします。

○その他保険について

就業時以外でケガ等があった場合に備え、全員に対して別途保険に加入します。保障内容は下記の通りです。

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| ・死亡・後遺障害保険金額 500 万円 | ・入院保険金（日額）3,000 円 |
| ・手術保険金（入院時）30,000 円（外来時）15,000 円 | |
| ・通院保険金（日額）1,500 円 | |

●費用負担について

参加者が負担するもの	自宅から現地までの旅費（往復交通費）、期間中の飲食費や洗濯等の生活費
賃金について	雇用契約通りに、参加者に直接賃金をお支払いください。 ※現在の岐阜県の最低賃金 時給 1,001 円。 ※賃金の支払いに関して、市および事務局は介在しません。 ※学生は、滞在期間中過ごせるだけのお金を十分に持ってこない可能性があります。可能であれば、途中でお支払いいただくと助かります。
宿泊費について	事業者様を通じて宿泊先をご手配いただいた場合、宿泊先へのお支払いは、ワーホリ事業受託業者より直接お支払いします。ご手配いただいた宿泊先のご担当者等の情報を事務局へお知らせください。宿泊補助額は1泊 5,000 円のため、5,000 円以上の場合の差額は参加者が負担することになります。
通勤費について	宿泊先から勤務先までの通勤交通費はワーホリ事業受託業者よりお支払いします。参加者に立て替えてもらい、後日、精算する形式です。
その他	・作業服等、就業に際し必要なものは事務局がお支払いしますが、内容及び金額によっては認められない場合がありますので事前にご相談ください。

●連絡・報告について

- ・ 参加者勤務期間中、事務局から、週 1 回程度、問題がないかの確認連絡をさせていただきますので、ご対応をお願いします。また、確認、相談等がある場合は、事務局にお問い合わせください。
- ・トラブル等、問題発生時には、事務局（緊急連絡先）にご連絡ください。状況によっては事務局にご連絡いただく前に対処していただくケースもあると思いますが、事後連絡をお願いします。
- ・受け入れの全員が終了時に、アンケートのご協力をお願いします。

●その他、諸注意等

- ・参加者には休日等に地域交流イベントに参加していただきたいと考えています。こちらから休日希望日を提示させていただく場合がございますので、可能な限り、ご協力をお願いします。
- ・参加者に車を貸し与えるようなケースで万一事故があった場合、自己責任となりますので

ご注意ください。

- ・ 懇親会等、お酒の席については、未成年者もいますし、お酒が飲めない方もいますので、無理強い等がないよう、適切にご対応ください。
- ・ 参加者には、勤務先で知り得た情報は、機密情報が含まれている場合があるので情報漏洩等がないよう注意していますが、事業者様からもご指導いただければと思います。
- ・ 仕事風景、休日の交流風景など、関係者が写真を撮影する場合がございます。今後の広報等で使用させていただく場合がございますのでご了承下さい。また、事業者の皆さんからも参加者の仕事上の写真をご提供いただけると幸いです。
- ・ 事業者の皆さんも、ワーホリシーンをインスタ等で投稿して盛り上げていただければと思います。「#下呂ワーホリ」

以上です。